

## 4K対応スクリーン WFプロ

新製品

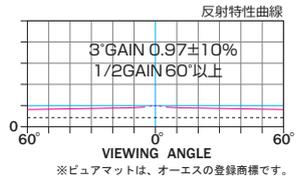
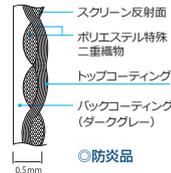
WFとは、ホワイトマットファブリックの略。オーエスではピュアマットの愛称で、2000年の誕生以来、ホームシアターで映像の素晴らしさで絶大な評価を得て、以来7代にわたりプロジェクターの進化に合わせ、改良を重ねてきました。WF801は防炎加工を施すことで公共施設への導入を可能にしました。

WFプロ WF801

4K SCREEN

WF801は、完全拡散型の最高級スクリーンです。拡散型のスクリーンは、鑑賞者の位置に係わらず、全ての前方向に同じクオリティの映像を反射します。

■3°ゲイン0.97±10% ■ハーフゲイン角60°以上



## HDRプロジェクター適合スクリーン レイロドルHF102

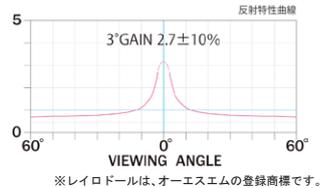
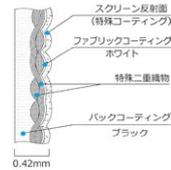
HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 対応プロジェクターの登場により、要望が高まった高ゲインスクリーンとして開発されたスクリーン。投写される光を生かすゲインの高さと共に、黒の階調もしっかり表現可能な広階調スクリーンです。また表面素材に特殊加工を施し、高ゲインと視野角を実現させています。

レイロドル HF102

4K SCREEN HDR High Dynamic Range Screen

HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 対応プロジェクターの投写する光を生かす、高コントラストスクリーンです。レイロドルHF102はWF302同様にファブリックの特質を生かし、高ゲインを意識させない自然な映像を生む、全く新しい第4のスクリーン生地です。

■3°ゲイン2.7±10%



## 4K対応の高解像度用スクリーン ピュアマットⅢCinema

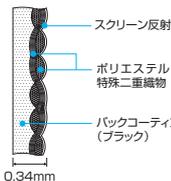
2000年に独自の特許技術で誕生したピュアマットは数々の改良を重ね、最新のWF302は高解像度プロジェクター用として、4Kの魅力を引き出すフォーカス感をしっかり実現しながら、非常に素直な映像を映し出す、最上級のスクリーン生地です。

ピュアマットⅢCinema WF302

4K SCREEN

モアレを防ぎ、高精細な映像を忠実に再現する4K対応スクリーン。ピュアマットはランダムに織られたファブリックスクリーンです。ピュアマットⅢCinemaは繊維の太さをピュアマットⅡの約半分にし、生地表面の凹凸を極限まで細かくして、ハイフォーカスを実現。またゲイン1.0という、拡散型としては最高品質のスクリーンです。

■3°ゲイン1.00±1.0% ■ハーフゲイン角60°以上



## FHDに対応するファブリックスクリーン ピュアマット204

一般的なスクリーン生地はガラスクロス塩ビにラミネートし、表面に凹凸加工をしたものですが、ピュアマット204は2種類の織り方の異なる特殊二重織と呼ばれる特殊織物のスクリーンです。

ピュアマット204 WF204

・自然で落ち着いた映像再現：不規則な凹凸を生むランダムな生地表面（写真参照）により、非常に柔らかで癖の無い映像再現性、2K HDのモアレを防ぎます。

■3°ゲイン0.90±10% ■ハーフゲイン角60°以上

